

鋁工業指數參考図表集
(2020年2月速報)

2020年3月31日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年2月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

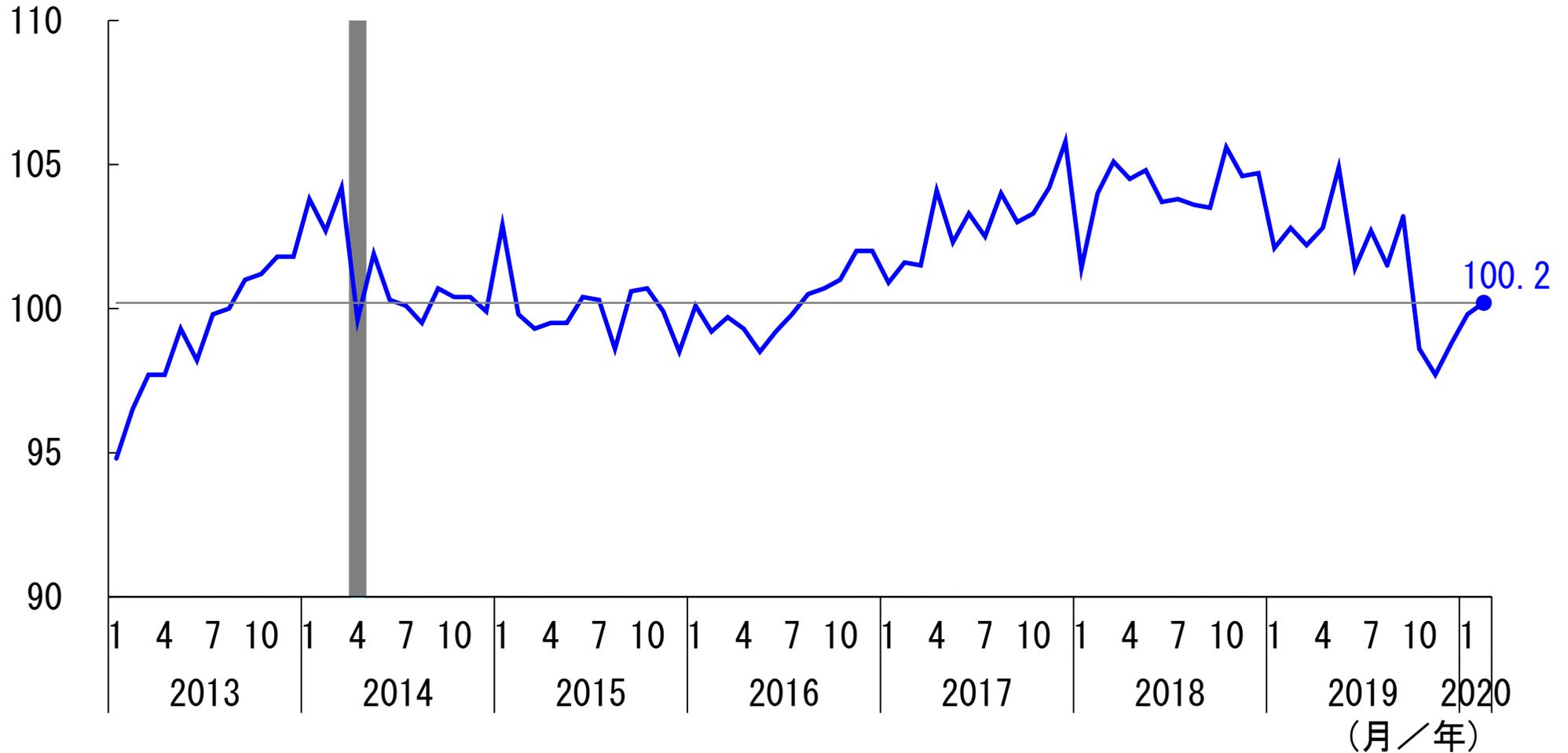
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	100.2	99.8	103.8	112.0
前月比	0.4%	2.6%	-2.0%	-2.5%
指数水準	2019. 9 103. 2以来 I 2017. 12 105. 8 II 2018. 10 105. 6 III 2018. 3 105. 1	2019. 9 102. 7以来 I 2014. 3 105. 7 II 2017. 12 105. 4 III 2014. 1, 2018. 4, 10 104. 4	2019. 11 103. 3以来 ①2014. 3 95. 3 ②2013. 11 95. 6 ③2013. 8 96. 2	2019. 9 108. 4以来 ①2014. 3 89. 1 ②2013. 11 90. 8 ③2014. 1 91. 8
前月比の動き	3か月連続＋ (2019.12～当月)	3か月連続＋ (2019.12～当月)	3か月ぶり－ (2019.11以来)	2か月連続－ (2020.1～当月)
前月比幅	2020. 1 1. 0%以来 I 2015. 1 3. 0% II 2017. 4, 2018. 2 2. 6% III 2014. 5 2. 3%	2019. 7 2. 7%以来 I 2015. 1 3. 1% II 2017. 11 3. 0% III 2019. 7 2. 7%	2016. 10 -2. 0%以来 (超)2013. 11 -2. 2%以来 ①2013. 11 -2. 2% ②2016. 10, 2020. 2 -2. 0% ③2014. 3 -1. 8%	2017. 11 -3. 3%以来 ①2014. 3 -4. 4% ②2017. 11 -3. 3% ③2013. 11 -3. 1%
前年同月比(原指数)	-4.7%(95.2)	-4.7%(94.9)	1.4%(105.0)	8.6%(119.4)
前年同月比の動き	5か月連続－ (2019.10～当月)	5か月連続－ (2019.10～当月)	16か月連続＋ (2018.11～当月)	15か月連続＋ (2018.12～当月)
前年同月比幅	2019. 11 -8. 2%以来 ①2019. 11 -8. 2% ②2019. 10 -7. 7% ③2015. 5 -5. 1%	2019. 11 -7. 7%以来 ①2019. 11 -7. 7% ②2019. 10 -7. 3% ③2014. 11 -5. 3%	2020. 1 3. 9%以来 I 2014. 11 7. 0% II 2014. 12 5. 9% III 2014. 8 5. 5%	2020. 1 9. 5%以来 I 2014. 11 13. 2% II 2019. 11 12. 2% III 2015. 3 10. 4%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

・ 2020年2月の鋳工業生産指数は、100.2(前月比0.4%)と3か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

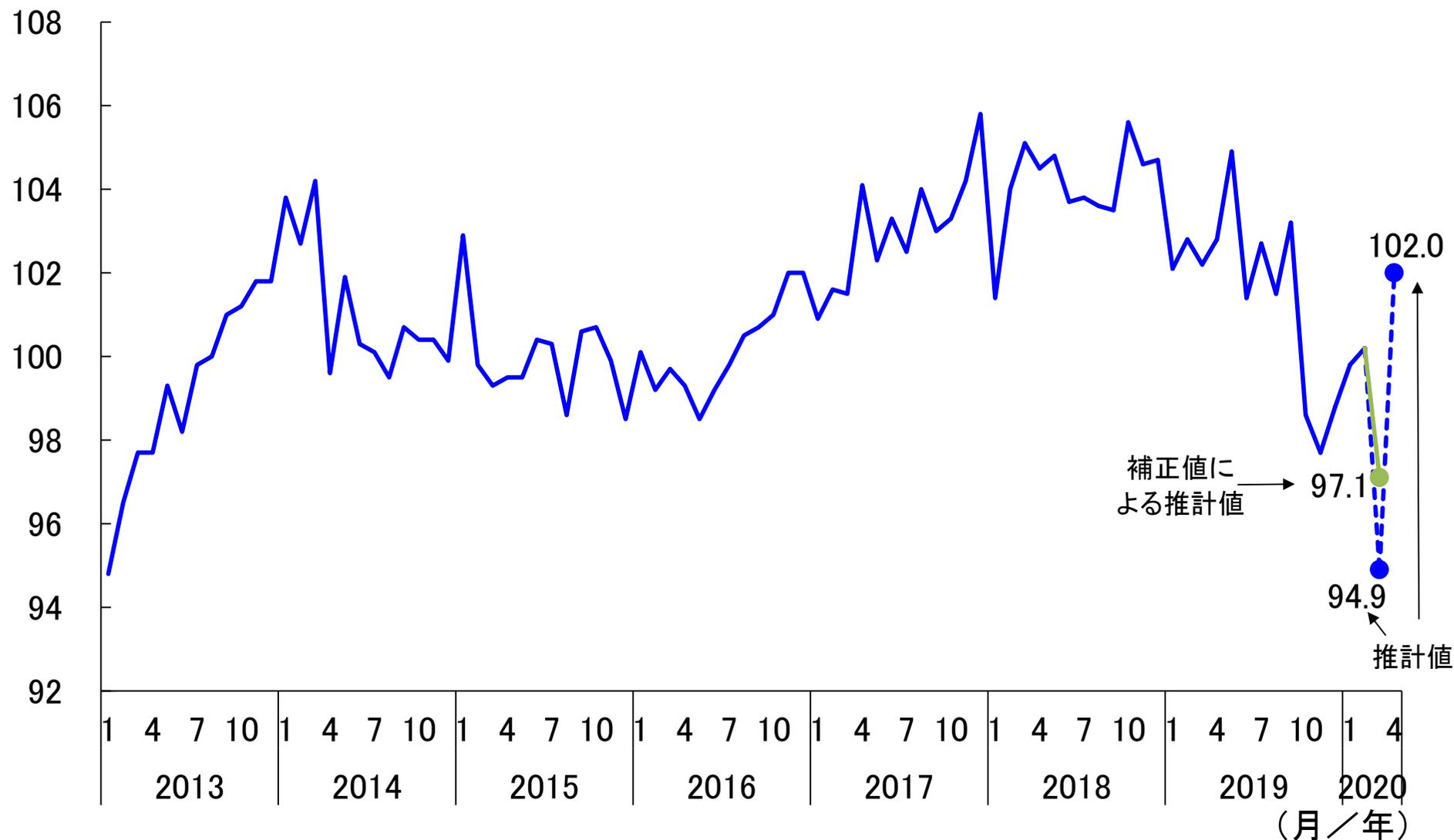


(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。

2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	10.7%	159.7%
	品目	集積回路	14.5%	96.1%
		電子部品	8.9%	30.7%
	2位の業種	無機・有機化学工業	6.0%	66.7%
	品目	プラスチック	6.6%	22.4%
		石油化学系基礎製品	8.2%	20.6%
	3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	3.2%	46.9%
	品目	熱間圧延鋼材	5.1%	14.7%
鉄鋼粗製品		3.9%	9.9%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-2.4%	-96.5%
	品目	乗用車	-2.5%	-47.9%
		車体・自動車部品	-1.8%	-28.1%
	2位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	-11.5%	-82.5%
	品目	航空機部品	-25.2%	-74.7%
		船舶・同機関	-4.4%	-14.1%
	3位の業種	生産用機械工業	-2.2%	-42.5%
	品目	その他の生産用機械	-8.0%	-27.3%
金属加工機械		-9.8%	-20.9%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	集積回路	14.5%	96.1%
	2位	ボイラ・原動機	50.2%	90.6%
	3位	電子部品	8.9%	30.7%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	航空機部品	-25.2%	-74.7%
	2位	乗用車	-2.5%	-47.9%
	3位	車体・自動車部品	-1.8%	-28.1%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	1.8%	222.6%
		モス型半導体集積回路(メモリ)	31.5%	97.6%
		プラスチック製機械器具部品	6.4%	24.9%
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	2.0%	27.9%
		橋りょう	82.7%	24.9%
		エレベータ	7.7%	7.8%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	-0.4%	-13.7%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-75.8%	-127.3%
		金型	-26.2%	-37.4%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-3.0%	-67.1%
		普通乗用車	-3.8%	-49.9%
		電気冷蔵庫	-30.2%	-11.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.5%	-120.9%
		頭髮用化粧品	-9.2%	-16.3%
		合成洗剤	-11.1%	-16.1%

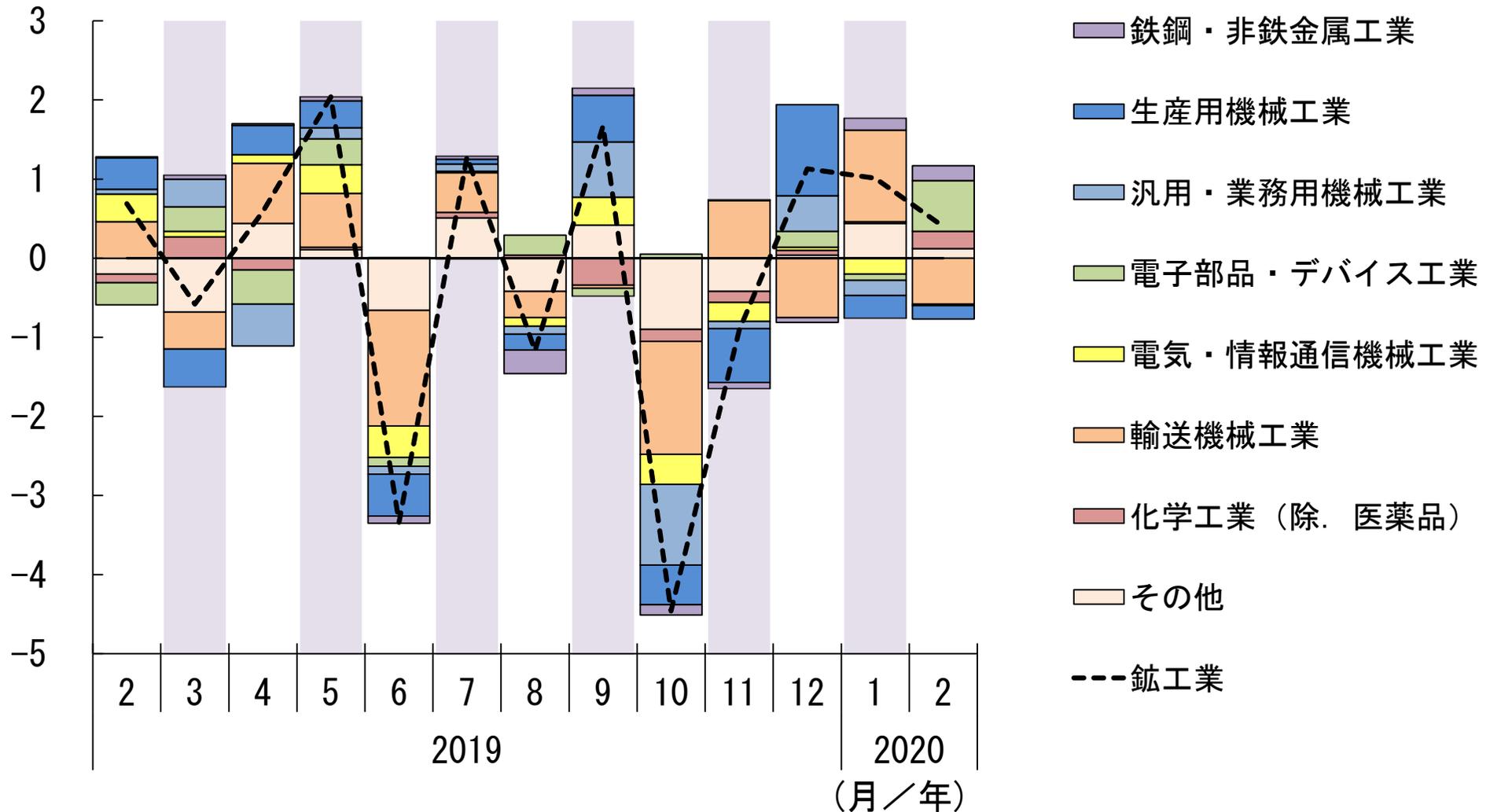
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

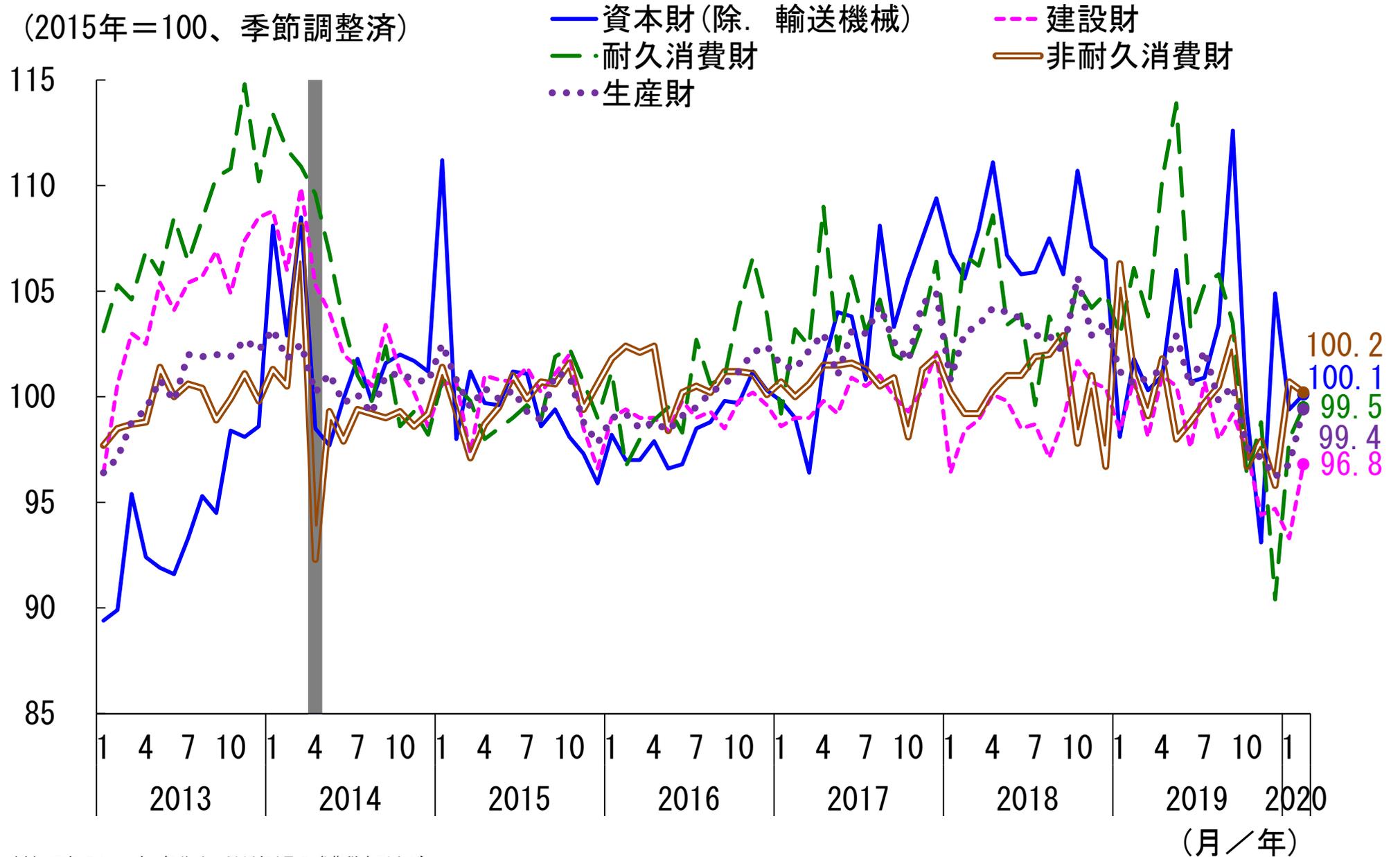
- 2020年2月の生産指数は、輸送機械工業などが低下したものの、電子部品・デバイス工業などが上昇したため、前月比0.4%の上昇。

(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



財別出荷指数の動向

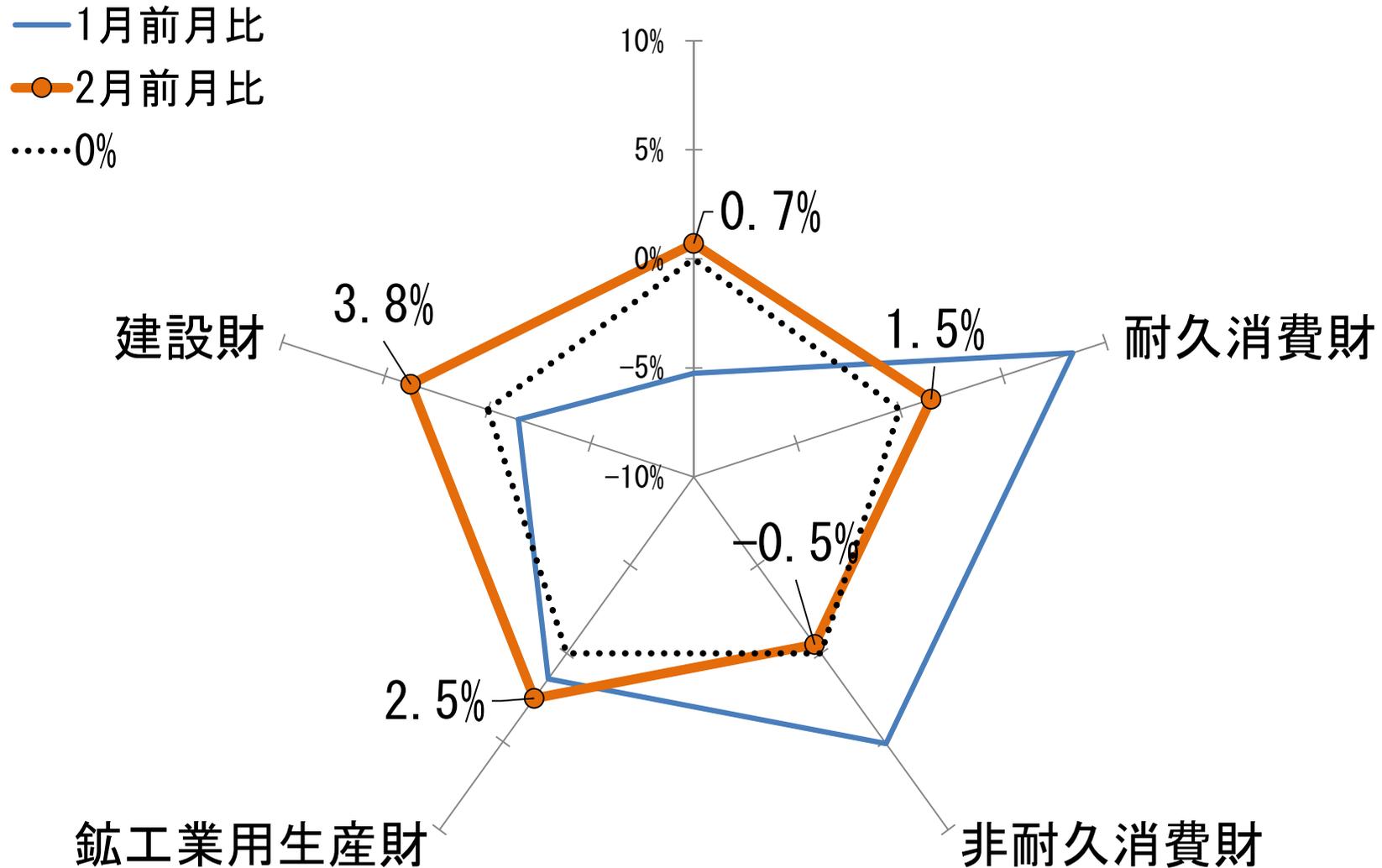
(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（2020年1月、2020年2月）

資本財(除. 輸送機械)

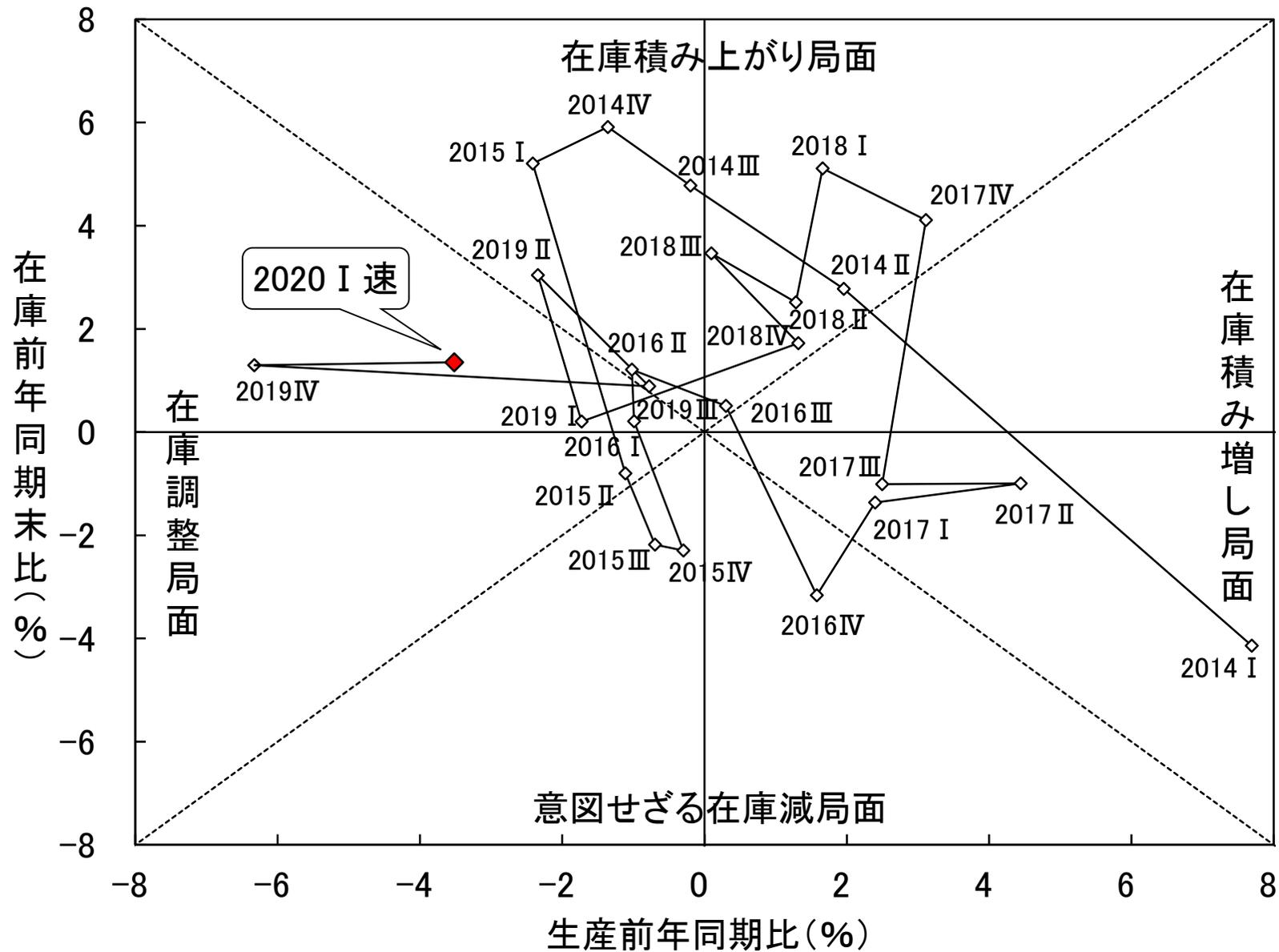


2020年2月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.7%	54.4%
		モス型半導体集積回路（メモリ）	22.8%	6.6%
		ボイラ部品	123.5%	3.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	3.8%	7.8%
		橋りょう	77.7%	3.6%
		アルミニウム製建具	5.7%	1.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	1.5%	6.0%
		普通乗用車	5.4%	12.4%
		小型乗用車	7.3%	3.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	0.7%	3.2%
		半導体製造装置	33.5%	18.6%
		シヨベル系掘削機械	20.4%	8.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.5%	-3.2%
		乳液・化粧水類	-13.1%	-3.0%
		柔軟仕上げ剤	-16.3%	-0.9%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業の在庫循環図



(注) 「2020 I 速」の生産は1月、2月の平均値、在庫は2月末の値を使用。

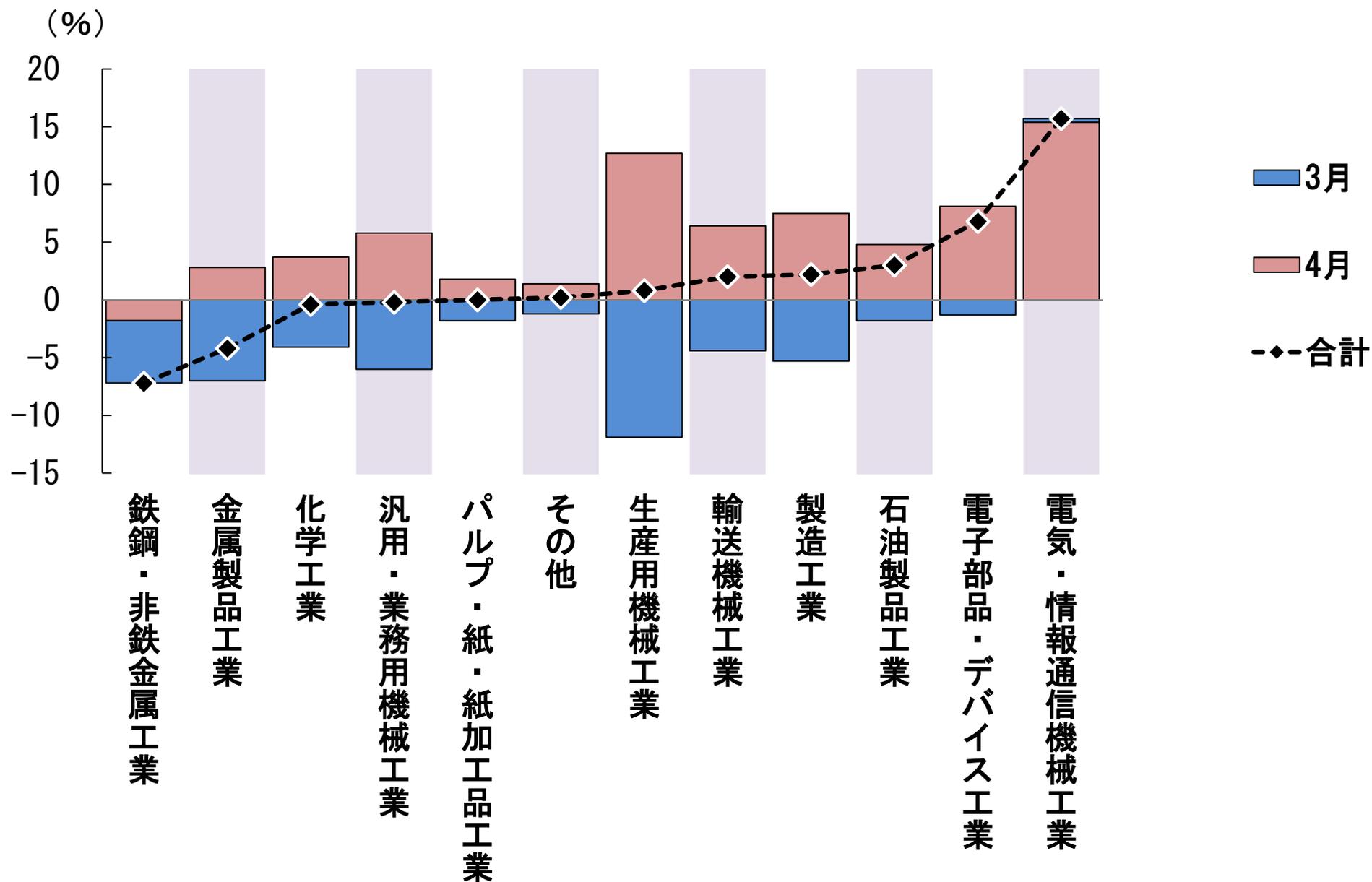
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	2020年3月見込み	2020年4月見込み
2020年3月調査(今回)	-5.3%	7.5%
2020年2月調査(前回)	-6.9%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
3月前月比	-3.1% (-4.1%～-2.1%)	-5.3%

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年3月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電気・情報通信機械工業	0.3%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-1.8%
パルプ・紙・紙加工品工業	-1.8%
その他	-1.2%
電子部品・デバイス工業	-1.3%
金属製品工業	-7.0%

低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	-5.4%
化学工業	-4.1%
汎用・業務用機械工業	-6.0%
輸送機械工業	-4.4%
生産用機械工業	-11.9%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年4月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電気・情報通信機械工業	15.4%
生産用機械工業	12.7%
輸送機械工業	6.4%
電子部品・デバイス工業	8.1%
汎用・業務用機械工業	5.8%
化学工業	3.7%
金属製品工業	2.8%

上昇寄与業種	計画前月比
その他	1.4%
石油製品工業	4.8%
パルプ・紙・紙加工品工業	1.8%
低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	-1.8%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年2月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退ながら弱含み」

基調判断の推移

- ・2015年8月 「生産は弱含み」
- ・2015年9月～2016年5月 「生産は一進一退」
- ・2016年6月、7月 「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・2016年8月～10月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・2016年11月～2017年10月 「生産は持ち直しの動き」
- ・2017年11月、12月 「生産は持ち直している」
- ・2018年1月～6月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2018年7月～9月 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2018年10月～12月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2019年1月、2月 「生産は足踏みをしている」
- ・2019年3月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年4月～7月 「生産は一進一退」
- ・2019年8月、9月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年10月～12月 「生産は弱含み」
- ・2020年1月～ 「生産は一進一退ながら弱含み」